

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	小鳩スマート保育所北馬込
施設所在地	大田区北馬込2-1-1
法人名	株式会社チャイルドピース

1. 活動のテーマ

<テーマ>

手先を使って感触を楽しむ遊び

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

・今年度、本園の園内研究のテーマは、「形や素材を楽しむ中で広がる子どもの遊び」である。子どもたちが手先を使って遊びを楽しむ様子を観察し、振り返りの中で意見交換を行い、環境構成の充実を図り、園全体の保育力の向上をめざしている。子どもたちがてや肌で直接感じる素材とふれあい、さまざまな遊びを楽しむ中で、子どもたちの感性や想像力を育みたいことから、本テーマを設定した。

2. 活動スケジュール

2024年11月～2025年2月の期間で行い、月に一度振り返りを行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

ススキ、机、椅子

机の上にススキを保育者がそっと置き、子どもがどのような反応を示すか見守った。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ 思いを簡単な言葉で表して保育者に伝える。
- ・ ススキの感触を味わう。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

近隣の方にいただいたススキを室内に置くと、ススキを手を持つ。手に持つと、穂を眺めて表面に何かついていることに気が付き、不思議そうな表情で見ている。「なんだろうね」と保育者が問いかけると改めて表面の感触を手でたしかめて、「ふわふわ」と思ったことを言葉で表していた。穂を手先でつまんで落とすことを真剣な表情で行う子もいた。

「どんな音がするかな」と子どもに問いかけた時には、「カサカサ」と音がすることを知り、振って確かめていた。振ると、穂が落ちてくることに気が付き、落ちてくる様子が面白い様子で繰り返し振っていた。落ちた穂を、おままごとのカップの中に入れる。カップの中に入った穂を見て、「ふわふわいっぱい」と自分の物とするように大切に穂を持っていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・ 戸外散歩でススキを見ることはあったが、実際に触る機会がなかった為、音や感触、穂が落ちる変化を感じ、発見したことを保育者に伝えていた。
- ・ 子どもが穂を手先でつまんで落とすことを真剣な表情で行っていたことが、思いもよらぬ発見となった。
- ・ 保育者から声掛けをすることが多かったことを感じた為、子どもの反応をよく見て、子どもからの気づきをしっかりと受け止める関わりを行っていきたい。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	小鳩スマート保育所北馬込
施設所在地	大田区北馬込2-1-1
法人名	株式会社チャイルドピース

1. 活動のテーマ

<テーマ>

手先を使って感触を楽しむ遊び

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

・今年度、本園の園内研究のテーマは、「形や素材を楽しむ中で広がる子どもの遊び」である。子どもたちが手先を使って遊びを楽しむ様子を観察し、振り返りの中で意見交換を行い、環境構成の充実を図り、園全体の保育力の向上をめざしている。子どもたちがてや肌で直接感じる素材とふれあい、さまざまな遊びを楽しむ中で、子どもたちの感性や想像力を育みたいことから、本テーマを設定した。

2. 活動スケジュール

2024年11月～2025年2月の期間で行い、月に一度振り返りを行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

・石 (大・小)

「雨」を感じてみようとして雨避けがついている園舎裏に行き、子どもが水たまりや砂利に目を向けられるようにする。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・小雨を触ったり見たりする。
- ・水たまりを発見して、水の波紋を眺めたり、石を落として音を聞いたりする。
- ・雨に濡れた自然物に触れる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・園舎裏に行くと、砂利付近に水たまりができていることに気が付き「みずたまりだ」と保育者へ伝える。水たまりを見て何を思うかという問いをもって子どもたちの表情や言葉を聞いた。水たまりに近づき、水面に当たる雨粒の波紋を見て「うごいてるね」と感じたことを言葉にする。次に、石を落とした時の音に「チャっていった?」と気づく子もいた。最初は小石を落としていた為、音が聞こえない子もいた。保育者が「シー」と身振りで知らせ、石を落としてみると「チャ」という音が聞こえるようになり、だんだんと大きい石を落として「ポンっていった」と音の違いやはじく水の量の違いに面白さを感じていた。最後は、両手を水たまりに入れて感触を楽しみ「つめたい」と言葉にしていた。

また、雨で柔らかくなった樹皮をペリペリと剥がす子もいた。「やわらかい」と言葉を発して、夢中に手先を使ってめくっていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・水たまりに触れる時に、最初は指を徐々につけていたが、最終的には手のひら全体を水につけていた。手のひら全体を水につけた時に「つめたい」という感触を他児と共に言葉にして感触を確かめ合っていた為、他の自然物に触れた時にも触った感触を問いかけていきたい。

・水たまりに石を落とした時の波紋や音に興味を持つ様子が見られた。石の大きさによって跳ね返りの違いに驚いた表情を見せていたり、音の違いを言葉で表したりしていた為、雨の日も屋根の下等を利用して様々な発見をしていきたい。